

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	免疫チェックポイント阻害剤治療におけるバイオマーカー同定および耐性メカニズムの解明
	研究目的	免疫チェックポイント阻害剤治療を受けるがんの患者さんからご提供いただいた血液・便・腫瘍組織を用いて、治療効果の期待できる患者さんを選別するための指標（バイオマーカー）を同定するとともに、治療薬が効かなくなる原因を明らかにします。なお、本研究で得られた成果を公表する際に、個人が特定されない情報（臨床情報や解析結果）が研究用公的データベースに登録され、製薬企業等民間企業を含む国内外の様々な研究において使用される可能性があります。
	研究対象者	2017年2月から2024年9月に当センターにて免疫チェックポイント阻害剤の治療を受けた患者さんのうち、本研究課題「免疫チェックポイント阻害剤治療におけるバイオマーカー同定および耐性メカニズムの解明」に同意された方。
	研究期間	西暦 2017年2月9日～西暦 2026年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input checked="" type="checkbox"/> 排泄物(便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部 笹田 哲朗
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器内科、泌尿器科、血液・腫瘍内科、頭頸部外科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	昭和大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 角田 卓也 昭和大学臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学講座 吉村 清 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 竹田 浩之
	海外へ試料・情報を提供する場合、国名も記載して下さい。	

※ 2024年10月22日